

2025年4月10日

学校法人瓜生山学園 京都芸術大学附属高等学校（通信制課程）

非常勤講師／英語（2025年6月着任）の募集について



「ええかげん、変わりたいわ。」

この一言は、本校を受験したひとりの生徒が、つぶやいた言葉です。

やりたいことを見つけたい。

苦手なことにチャレンジしたい。

ホントは「もっとガンばれる」って思ってる。

モヤモヤした自分から本当の自分へ、いいかげん、変わりたい。

そんな風に思っている生徒が、ほんとにたくさんいます。

私たちは、2019年に開校したばかりの、まだ新しい学校ですが、そんな風に思っている生徒を応援する為に、日々努力しています。これまでの、そして現在の教育の常識にとらわれることなく、生徒自身の成長や変化の為に、私たちができることは何か。

学校は、もっと時代に沿って、生徒たちに寄り添って、変化していてもいい筈です。

学校は、「変わりたい」と思っている生徒の為に、「変わらなければならない」のです。

私たちと一緒に、新しい学校の創造にチャレンジしていただける皆さんからの応募をお待ちしています。

【本校の特色について】

本校は、校名からわかる通り、芸術大学の附属高校ではありますが、個々の芸術表現の技能や知識の修得ではなく、芸術や表現活動の根本にある考え方を、より多くの生徒に伝えたいと考え、設置学科は「普通科」としています。

その根本にある考え方とは、

「自分を表現すること」「周りのひとを理解すること」

のふたつです。

「自分の考えを相手に伝えながら、相手の考えにも耳を傾け、その違いを互いに認め合う」

芸術の根幹に流れるこの考え方を、これからの社会を担う多くの人に身に着けて欲しいと願っています。

●「対話型授業」の導入

その実現の為に、本校では「対話型授業」という教育手法を取り入れています。正解のない問いに対して、生徒同志が意見を出し、聞きあう。そして合意形成にたどり着く。それは、これまでの、ひとつの正解をもとめてきた勉強の仕方とは対極にある教育手法です。ここでは、絶対的な正解は存在しません。それぞれの意見の良さを認めあい、よりよい考え方にたどり着くことに重きがおかれています。また、「対話型授業」を特定の科目だけでなく、全ての科目において導入できるようにチャレンジしています。「対話型授業」の手法を身につけることは、教員としてのステップアップにつながる貴重な体験でもあると考えています。

●「大学連携」による教育

本校では「プロフェッショナル科目」という大学や専門学校の教員による授業も導入しています。様々な分野のプロフェッショナルである先生による専門的な授業を通して、生徒自身が自分の将来をイメージできるのも大学附属ならではの特色です。

また、大学と同じキャンパスにあるメリットを生かし、本校の生徒は、自由に大学キャンパスの施設を使うことが可能です。図書館、学食、カフェ、ラウンジ。一部の授業は大学施設にて行っています。一般の高校生にとって、大学施設に入れるのはオープンキャンパスの時位ですが、本校の生徒は大学施設に自由に入出入りする事で、「普通の大学生」のイメージを持つ事ができ、自分自身のキャリアを考える上で、とても大きな意味を持っています。

●「通信制高校」の仕組みを生かした新しい教育スタイル

本校では通信制高校の仕組みを使う事で、学び方や高校生活に対する新しいスタイルを生徒たちに提示しています。週3日の授業日を基本に自分で登校日数を決められる仕組みや、教員による指導

ではなく生徒たち自身が活動内容を決定し自主性を育む同好会活動、また校則は設けていません。元気な生徒たちの姿を見て、通信制高校に対するイメージが変わったという言葉も多く頂きます。全日制では実現できない新しい学校の姿が本校にはあると思っています。

●「安全・安心」を生み出す教員

本校の生徒からは、「先生との距離が近い」という声が、非常に多くあがります。中学校までの教員との関係性とは違ったものを感じているようです。私たちは、学校が生徒にとって「安全・安心」な場所であることを大切にしています。それは、「通学することが楽しい」「クラスに馴染んでいる」「先生が相談に応じてくれる」「相談できる友達がいる」といった心理的な側面です。多くの教員は生徒からニックネームで呼ばれています。本校の先生は、生徒にとって、学校生活や将来のことを一緒に考えるパートナーであって欲しいと思っています。

また、「対話型授業」についても、多くの生徒は「自分の意見が話せるようになった」「人の意見を聞くことの大切さがわかった」など、好意的な声がたくさん聞かれます。ただ、新しく着任された先生にとっては、初めて経験する授業方法でもあります。そこで先生方のスキルアップを図る為に、毎週実施している勉強会の中で、教員が生徒となって授業を体験するなど、授業方法に関わることに多くの時間を割いています。先生も生徒と同様に学び続ける事が大切だと考えています。

多くの生徒が、自分の高校生活をどう送るかを自分で考え、自分に合った学校を自由に選択できるようになる。そんな時代がすぐ近くに来ています。私たちは、そんな新しい時代の新しい学校になりたいと思っています。

<概要>

校 種 高等学校

課 程 通信制課程 普通科

所 在 地 京都市左京区北白川上終町 24

開 校 2019年4月1日

生 徒 数 579人 (2024年5月1日現在)

詳しくは、高校 HP をご覧ください。

<https://shs.kyoto-art.ac.jp/>

【設立母体瓜生山学園について】

学校法人瓜生山学園は、学園創設者である徳山詳直が提唱した“宇宙の万物の調和ある共存のもとに芸術の力で世界平和を実現しよう”という「芸術立国」の理念のもと、他者を思いやる「想像力」と、新たな価値を生み出す「創造力」を育み、その力を社会に役立てることのできる人間の育成をはかり、社会課題の解決と世界の平和に貢献することを使命としています。

この「芸術立国」の理念のもと、教養教育、基礎教育、専門教育の全てを通して「人間力」と「創造力」を育み、特色ある教育手法と社会連携による実践的な学びによって、新たな価値を社会に発信し続けることのできる自立した人間を育成し、設置校および各教育課程の間で教育手法、教育成果を共有し、学園全体の教育力向上に取り組んでいます。



同時に、開設当初より、世代、地域を超えた教育の提供をも目指しており、設立 30 周年を記念して宣言された「芸術立国」の中でも、「新たな 30 年の展望」のひとつとして、「世代を超え、地域を超えた芸術運動を目指す」と記されています。

短大、大学の設立に続き、通信教育部の設立により世代・地域の枠を越え、2019 年には念願であった高校の設立に至りました。現在では全体で 24,000 人を越える在校生を数える学園になりました。それでも、学園の歩みは、まだまだ道半ばです。これからも「学生ファースト」の視点を大切に、世の中の常識にとらわれず、チャレンジし続けていきます。

[沿革]

1977 年	京都芸術短期大学 造形芸術学科を設置
1991 年	京都造形芸術大学 芸術学部を設置
1996 年	大学院 芸術研究科（修士課程）を設置
1998 年	芸術学部 通信教育部を設置
2000 年	京都造形芸術大学、京都芸術短期大学を統合し、総合芸術大学に再編
2005 年	こども芸術大学を開設（付置施設）
2010 年	東京外苑キャンパス、大阪サテライトキャンパス開設
2013 年	京都芸術デザイン専門学校、京都文化日本語学校を併設校に
2019 年	京都造形芸術大学附属高等学校開校 認可保育園こども芸術大学開園
2020 年	京都芸術大学・京都芸術大学附属高等学校に名称変更

詳しくは、大学 HP をご覧ください。

<https://www.kyoto-art.ac.jp/>



【応募要領】

応募職種	教員
雇用形態	非常勤講師
対象教科	英語
職務内容	科目担当（スクーリング、添削、試験等）
勤務地	京都芸術大学附属高等学校（京都市左京区北白川上終町 24）
期間	2025年6月～2026年2月
募集人数	1名
応募資格	①着任時に、該当の教科・科目の高等学校の教員免許所持者 *本学園では65才定年制（65才の誕生日を迎えた年度末）となっておりますので、着任時65才未満の方を対象とさせていただきます。
応募方法	下記＜応募書類＞一式を、郵送にてご提出下さい。 ①教員採用エントリーシート *エントリーシートは京都芸術大学ホームページよりダウンロードして下さい。 京都芸術大学 HP 教職員募集 https://www.kyoto-art.ac.jp/info/recruit/ ②職務経歴書（任意書式、A4サイズ） ③教員免許状（写し） *職務経歴書は、指定書式は設けていませんが、A4サイズの用紙でお願い致します。 *応募書類は返却いたしませんので予めご了承下さい。 *応募にあたってご提出頂いた個人情報には本学園規定にしたがい適切に管理し、採用選考の目的以外に使用しません。
応募期間	＜応募書類＞一式をご郵送又はご持参下さい 随時審査 *採用が決定した場合は、その時点で終了とさせていただきます。
選考方法	①書類選考（随時） ②面接選考（日程については書類選考通過者に個別にお知らせします） *面接の際の交通費等の支給はありませんのでご了承下さい
応募宛先	〒606-8252 京都市左京区北白川上終町 24 京都芸術大学附属高等学校 採用担当

※封筒の表面に「非常勤講師応募書類在中」と朱書きしてください。

【勤務条件／待遇】

業務内容 給 与	教科科目に関わるスクーリング・レポート・試験等の業務 1,500 円／時 *スクーリング準備、スクーリング、レポート作成及び添削、試験問題の作成及び 添削等、上記業務に係る実働時間分お支払いします。
通勤手当	本学規程に基づき、出校回数分を翌月にお支払いします
担当科目	英語（英語コミュニケーションⅠ） 授業回数 60 コマ程度
授業曜日	授業期間中（6月～1月）月・水・金 *通信制の場合、週の時間割は固定ではありません。 （週によって、スクーリングの無い曜日もあります。週 5～8 コマ程度）
就業時間	9：00～17：30 （業務に合わせての時間帯でご出勤となります）
契約期間	2025年6月～2026年2月末
備 考	受動喫煙対策あり：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所設置）
問い合わせ先	京都芸術大学附属高等学校 採用担当 徳丸 e-mail： koukou@office.kyoto-art.ac.jp T E L：075-791-8079（平日 9：00～17：30）

■ご応募の前に、必ず大学ホームページより、『京都文藝復興』『藝術立国』をご一読下さい

『京都文藝復興』 <https://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/hukkou.pdf>

『藝術立国』 <https://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/artsnation.pdf>

『高校 HP』 <https://shs.kyoto-art.ac.jp>